

令和7年度 第1回伊勢市再犯防止推進計画策定委員会会議録（概要）

開催日時 令和7年8月5日（火）10時00分～

開催場所 伊勢市役所本庁舎東館4-2会議室

出席委員 鵜沼憲晴委員、小林初美委員、長濱有沙委員、山本彩那委員、高村護委員、
小池大作委員（代理：中谷氏）、山本泰正委員、西教孝哉委員、杉岡一幸委員、
野田知子委員、岩崎三安子委員、橋本さち子委員

欠席委員 太田ひとみ委員

事務局 〔健康福祉部〕部長、次長、福祉総合支援センター副参事、
福祉総務課長、同福祉総務係長、同職員

傍聴者 なし

1. 第2期伊勢市再犯防止推進計画（素案）について

資料に沿って事務局より説明。

【委員からの主な意見等】

- ・伊勢市に協力雇用主会は設置されているか。
（事務局回答）設置されている。
- ・三重刑務所では矯正展、即売会といった刑務所作業製品の販売を行っていて、これにより、被害者団体のところに一部を補助するという働きもある。伊勢市での催事の際、参加させてもらえないか。
（事務局回答）当市でイベント等を開催する際は協力する。
- ・不起訴や、起訴されても執行猶予等で釈放される方に対しての支援を盛り込んでほしい。
（事務局回答）(1) ①に含まれている。執行猶予等の判決が出た際に、対象者と面会・相談支援したいと考えている。最近、地域生活定着支援センターがかまない事案で、裁判の傍聴、検察庁と連携し、拘置所で身柄の引き受けを行い、福祉の支援につなげたという事例がある。今後もそういうケースを増やすため、支援関係機関同士の連携体制を整えたい。
（委員意見）突然出てきて困らないように、地域生活定着支援センターも一緒に絡んでできればと思う。
- ・ハローワークに対する求人が減っている。求人開拓していく。こういった事情のある方の受け入れが可能かという問いかけもしていく必要があるのかと感じる。
協力雇用主のリストアップした情報があれば支援につなげやすいのかなと思う。

(委員回答) 津の保護観察所が管理をしているが、企業名などは公表していない。

- ・刑務所等から出てくる際の支援、住居やお金といった支援だけではなく、生活の仕方、整え方、お金の使い方などの支援をしないと再犯につながると感じている。
特に少年、青年の再犯防止に向けて、就労支援、協力雇用主の開拓というのが重要ではないか。

(事務局回答) 現在、福祉の拠点として福祉総合支援センターにて相談を受けている。重層的な支援体制の中で、本当に必要な支援は何なのかを確認しながら、関係機関と協力して進めている。

- ・住み慣れた地域で、お互い支えながら・・・ 本当に住み慣れた地域がいいのか、離れたままの方がまたトラブルにならないのではないか。

(委員回答) 本人に帰りたいと言われると、地元で調整する。いろいろ考えながら、一番いい方法で、いつも調整している。一つの機関だけで考えるのではなく、どこかの機関と繋がりながら、一番いい方法を探っていくのがいいと思う。

- ・連携の図をいれてはどうか。

(事務局回答) 検討する。